

県土整備部の職場紹介 No.10 建設技術振興課

県土整備部は、「県民から信頼される県土づくり」を目指して、各室課がそれぞれの役割を果たしています。各室課が取り組む課題や業務を毎月ご紹介します。

組織の概要

建設技術振興課では、東日本大震災津波からの復旧・復興事業の円滑な執行の支援、建設企業の経営安定・技術力の向上、経営革新の取組の支援、県営建設工事（建設関連業務）の品質向上、それを担う職員のスキルアップの推進を目的として、施工確保対策に係る制度の策定・運用や建設関連団体等との意見交換、積算研修や安全管理研修の実施など、幅広い業務を担当しています。

建設業振興担当

建設業法に基づく建設業許可や監督処分を担当するほか、円滑な受発注環境を構築するための支援として、建設工事・建設関連業務の競争入札参加資格者名簿を作成し、運用しています。特に建設関連業務においては、電子入札システムを導入し、入札参加者の資格設定や公告、落札までの業務を担当しています。

また、建設業のイメージアップと担い手の育成・確保に向けた取組の一環として、「いわて建設業みらいフォーラム」を開催しています。フォーラムでは、地域振興で建設業が果たす役割や、そこで働く魅力について、県民、特に学生や生徒など、若者に対して発信し、建設業を取り巻く課題についても議論しています。



いわて建設業未来フォーラムの様子(H27)

技術企画指導担当

主に東日本大震災津波からの復旧・復興事業の円滑な執行の支援として、施工確保対策に係る制度を策定し運用しています。具体的には、業界団体等との意見交換や情報共有等による入札不調への対応や、沿岸各地域の施工確保対策連絡調整会議による資材の需給見通し、土砂流用の調整を行っています。

また、建設工事・建設関連業務の品質向上とそれを担う県の技術職員のスキルアップのため、新採用職員から採用4年目までを対象とし、計画的に研修しているほか、積算システムの運用や安全管理に関する専門研修を実施しています。中でも、土工の情報化施工など建設現場におけるICT技術の活用が本格化していることから、建設ICT^(※)の最新動向を理解し今後の監督業務等に役立てることを目的として、平成28年7月に「建設ICT講習会」を開催しました。



建設ICT講習会の様子

※建設ICT：調査・設計・施工・維持管理・修繕の一連の建設生産システムにおいて効率化及び高速化による生産性向上に寄与する情報通信技術のこと